ボーリング柱状図

調　査　名　　上郷住宅地質調査(第1次)

ボーリングNo.

事業･工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	愛知県豊田市上郷地内				北　緯	35° 0’ 24.6″
発 注 機 関	愛知県建設部建築局公営住宅課			調査期間	平成27年10月19日～27年10月20日		東　経	137° 8’ 12.3″
調査業者名	株式会社アイコ 電話 (0565-48-6048)	主任技師	中村　吉男	現　場 代理人	吉田　一也	コ　ア 鑑定者	吉田　一也	ボーリング責任者	坂口　浩行
孔口標高	KBM +0.930m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	30.45m							

試 錐 機	ワイビーエム　YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下
エンジン	ヤンマー　TF90V-E	ポ ン プ	カノ　V6

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日
					盛土	暗褐～淡黄灰～暗灰）	非常に緩い		深度1=0.0～0.3mアスファルト。1=～0.5m径φ=5～40mmの砂礫(砕石)。 ¥1=～0.9m礫混じりシルト質砂主体。φ=2～30mmの礫混じる。 ¥1=～2.0m細～中粒砂。1=～2.7mシルト質砂主体。希にφ=5～10mm ¥の礫含む。含水中位。	10/19 2.00
	-1.77	2.70	2.70							
					シルト	黒灰～黒褐～暗灰		軟らかい	ほぼ均一なシルト(希に粗砂を含む)。最上部にやや砂質分含む。 ¥1=4.5～5.5mやや黒褐色を呈する腐植土質となる。腐植物含む。粘性大。	
	-5.87	4.10	6.80							
	-6.27	0.40	7.20		シルト質粗砂	黒灰	中位の		シルト分を多く含むシルト質粗～中砂。含水大位。	
	-7.07	0.80	8.00		礫混じり粗砂	黒灰～黒褐	中位の		φ=2～25mmの亜円礫を含む粗～中砂。礫率P≦5%。シルト分少量含む。 ¥含水中～大位。	
	-8.07	1.00	9.00		砂礫	灰	密な		φ=2～30mmの亜円礫を主体に含む(φmax=50mm)。 ¥マトリックスは粗～中砂。含水大位。P=30～50%。	
	-8.87	0.80	9.80		礫混じり粗砂	灰	中位の		所々にφ=2～30mmの亜円礫を含む粗～中粒砂。礫率P=5～10%。含水中位。	
	-14.97	6.10	15.90		砂礫	淡黄灰～灰	密な～非常に密な		φ=2～30mmの亜円礫を主体に含む砂礫(φmax=50mm)。希に花崗岩のクサリ礫 ¥あり。P=30～50%。マトリックスはややシルト分を含む中～粗砂から ¥なる(花崗岩起源)。1=14.00m～は上部より若干シルト分多くなる。 ¥所々砂の簿層みられる。含水小位。	
	-15.77	0.80	16.70		シルト混じり中砂	淡黄灰	密な		シルト分をやや含む中～細砂。砂粒子は不均一。所々にφ=2～30mmの ¥礫混じる。含水中～小位。	
	-17.77	2.00	18.70		砂礫	淡黄灰～淡赤褐	非常に密な		φ=2～30mmの亜円礫を主体に含む砂礫(φmax=50～60mm)。P=30～40%。 ¥マトリックスは中～粗～細砂からなる。若干シルト分含む。 ¥所々に砂の簿層を挟む。含水小位。	
	-19.87	2.10	20.80		シルト混じり中砂	淡黄灰	密な		シルト分を若干含む中～細～粗砂。砂粒子は不均一。下部は砂粒子やや ¥粗くなる。所々にφ=2～20mmの亜円礫混じる(φmax=40mm)。含水中～小位。	
	-22.67	2.80	23.60		砂礫	淡黄灰	非常に密な～密な		φ=2～30mmの亜円礫を主体に含む砂礫(φmax=40mm)。P=30～50%。 ¥マトリックスは粗～中砂主体。シルト分若干含む。下部に向かって ¥全体的に礫径・礫率・砂粒子大きくなる。含水中～小位。	
	-22.97	0.30	23.90		シルト	淡黄灰			シルトの簿層。	
	-23.77	0.80	24.70		細砂	淡黄灰	非常に密な		砂粒子やや均一な細～中砂からなる。希にφ=2～10mmの礫混じる。含水小位。	
	-24.17	0.40	25.10		固結シ	黄褐			やや砂分含む固結シルト。	

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.65	1	1	2	4	4.0
2.45	1	1	1	30 3	3.0
3.15	1	1	1	30 3	3.0
4.15	1	1	1	30 3	3.0
5.15	1	1		30 2	2.0
6.15	15 1	15 1	1	30 3	3.0
7.15	4	9	10	30 23	23.0
8.15	14	13	9	30 36	36.0
9.15	5	5	5	30 15	15.0
10.15	10	8	6	30 24	24.0
11.15	10	15	17	30 42	42.0
12.15	14	19	18	30 51	51.0
13.15	8	13	13	30 34	34.0
14.15	16	20	21	30 57	57.0
15.15	12	16	20	30 48	48.0
16.15	9	10	12	30 31	31.0
17.15	23	26	11	30 60	72.0
18.15	13	14	26	5 25 53	53.0
19.15	9	13	20	30 42	42.0
20.15	15	15	16	30 46	46.0
21.15	15	16	17	30 48	48.0
22.15	17	20	23	30 60	60.0
23.15	25	26	9	30 60	78.3
24.15	20	30	10	3 23 60	78.3
25.15	3	4	5	3 23 13	

原位置試験

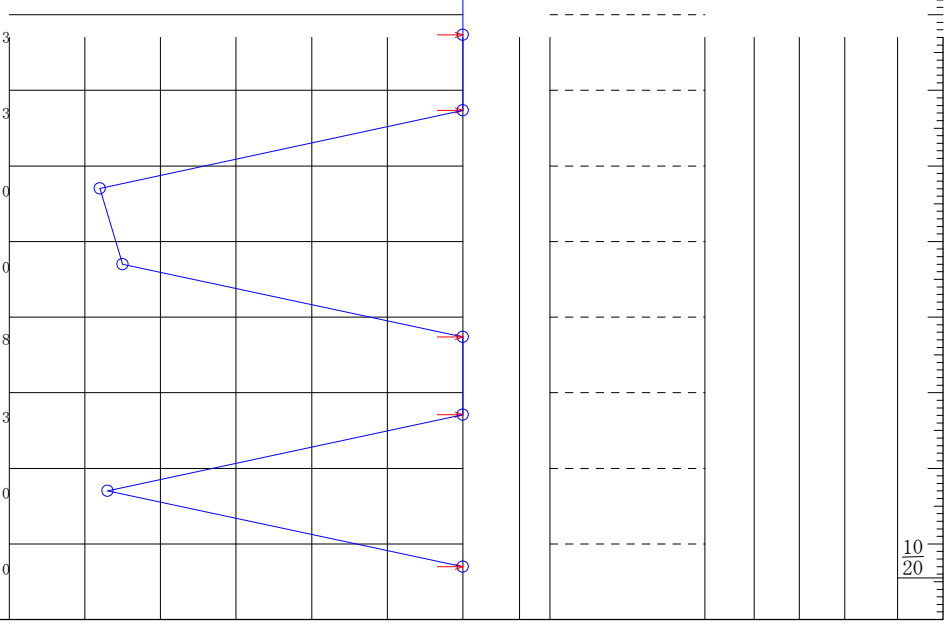
深度 m	試験名および結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：10/19

23								¥全体的に礫径・礫率・砂粒子大きくなる。含水中～小位。
	-22.67	2.80	23.60	シルト	淡黄灰			シルトの薄層。
24	-22.97	0.30	23.90	細砂	淡黄灰	非常に密な		砂粒子やや均一な細～中砂からなる。希にφ=2～10mmの礫混じる。含水小位。
	-23.77	0.80	24.70	固結シルト	黄褐～淡黄灰			やや砂分含む固結シルト。
25	-24.17	0.40	25.10	凝固シルト	青灰～暗青灰		硬い	若干砂質分を含むほぼ均一な凝固シルト(半固結)。¥腐植物点在する。φ=1mm程度の雲母片含む。粘性中位。
26	-25.67	1.50	26.60	中砂	淡黄灰	非常に密な		中～細～粗砂からなる。砂粒子不均一。下部に向かって砂粒子粗くなる。希にφ=2～10mmの礫混じる。含水小～中位。
27								
28	-27.97	2.30	28.90	凝固シルト	暗		硬い	若干、砂質分を含む凝固シルト(半固結)。粗砂および雲母片を点在する。¥粘性中位。
29	-28.57	0.60	29.50	中砂	淡黄灰	非常に密な		中～細～粗砂からなる。砂粒子不均一。¥希にφ=2～10mmの礫混じる。含水小～中位。
30	-29.52	0.95	30.45					

23.15	25	26	9	60	78.3
23.38			3	23	
24.15	20	30	10	60	78.3
24.38			3	23	
25.15	3	4	5	12	12.0
25.45				30	
26.15	4	5	6	15	15.0
26.45				30	
27.15	21	30	9	60	81.8
27.37			2	22	
28.15	20	21	19	60	64.3
28.43			8	28	
29.15	4	4	5	13	13.0
29.45				30	
30.15	17	21	22	60	60.0
30.45				30